

第5回 自由が丘街づくり連絡調整会を開催しました！

(令和4 (2022) 年3月4日 (金) 14:30~16:00 於 オンライン 当日参加者22名)

自由が丘での街づくりの動きを幅広く知っていただくことを目的に、当ニュースを発行しております。

本会の趣旨

自由が丘には、町会や商店会といった団体のほか、地域の皆様で構成された多様な組織が街づくりに取り組んでいることから、各々の街づくりの動きを共有し、互いに調整・連携することを通して、より魅力的な自由が丘にしていくことを目指し、目黒区主催で『自由が丘街づくり連絡調整会』を開催してきました。

5回目となる今回の自由が丘街づくり連絡調整会は、新型コロナウィルス感染症の拡大状況を鑑みてオンライン開催とし、12団体、合計22名の方にご出席いただきました。当日は「自由が丘未来ビジョン（DRAFT）課題・目標編」をお示しし、ご意見をいただくとともに、各団体から各々の活動・検討状況を共有いただきました。

「自由が丘未来ビジョン（DRAFT）課題・目標編」について

まちづくりの方向性

変化を読み解き先取りしながら、
「自由」な感性を活用して、
継承する良い個性のアップデートと
受け皿としての改善により、
新しい人口を誘引するまちをつくる。

テーマの達成に向けたまちづくりの方向性

→ テーマ1 回遊的魅力を発展的に強化した歩行者本位のまちづくり

→ テーマ2 まちの知名度やプロモーションの力の活かした新たな利用者を誇りするまちづくり

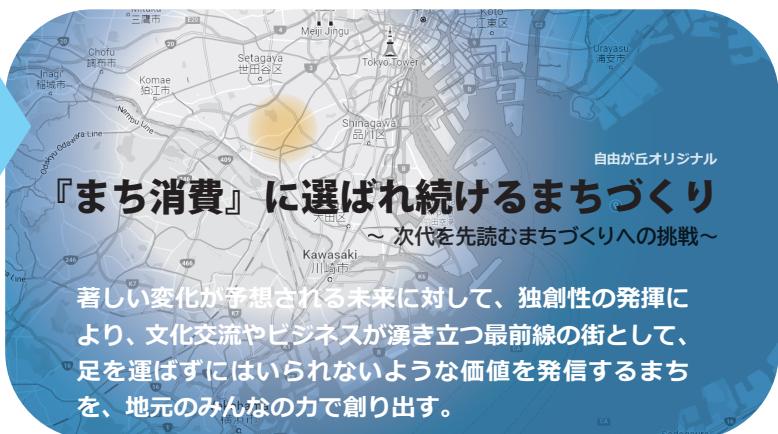
→ テーマ3 既存の良い風景をつないだ訪れたくなるシーンのあるまちづくり

→ テーマ4 歩行者回遊や防災性向上に向けて都市活動基盤を改善するまちづくり

→ テーマ5 建物の更新を通じてまちの価値を高める受け皿を計画的に創り出すまちづくり

→ テーマ6 公共空間や建物に対して自然的要素を組み込んだまちづくり

“まちづくりの目標を示すコンセプトワード”



自由が丘のまちづくりのテーマを達成するために、以下の5つのアクションコンセプト(取組み分野)のもとに、短期～長期の取り組みをプログラムとして設定し、まち全体で総合的に実現に取り組んでいく。

アクションコンセプト1 PLANTS の実現と特徴ある地区の連携

アクションコンセプト2 魅力あふれるウォーカブルゾーンの形成

アクションコンセプト3 安全安心に「まち消費」できる防災力の強化

アクションコンセプト4 技術革新+グリーン社会への対応

アクションコンセプト5 持続発展的なエリアマネジメントの実践



アクションコンセプトの実現 地域の独創力を集めてまちをつくる



右のQRコード及び下記URLから目黒区ホームページで、第5回街づくり連絡調整会の資料が確認できます。
URL <https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/sumai/katsudo/jiyuugaokaeki/matidukurirenkutyouseikai.html>



当日いただいた主なご意見

《未来ビジョンへ対するご意見》



【全体について】

- 未来ビジョンの**基本的な考え方**については、**賛成**である。
 - (株)ジェイ・スピリットが策定した**グランドデザインを踏まえて具体化する内容**となっており、素晴らしい。
- 社会的には高齢化や生産年齢人口の減少が見込まれるが、**自由が丘は新産業を引っ張つてくる魅力を持った街**である。
- ワークスタイルが変化してきている現代において、**自由が丘は利便性の良い街**だと再認識される。横浜・川崎方面も見据えた広いエリアにおいて、**良好な環境の地域として発展し、選ばれる街になつてほしい**。
- 予測される人口減少を避け、より明るい未来にたどり着くために、改めて自由が丘の強みや弱みを考え、**どのように夜間人口や昼間人口を増やすか、どのように賑わいを高めていくか**、考えることが重要。
- 都市間競争を勝ち抜くためには、**イノベーター・クリエイターに支持されるような取組み**を行い、まちを発展させていくことが重要。
- 選ばれるための床をどのように作っていくか、オープンスペースをどれだけ豊かなものにできるか、皆で検討し取組む必要がある。**現況・課題・取組み等の様々な要素をうまくつなぎ合わせてほしい**。
- 住民の高齢化が進んでいるため、休憩できる空間をつくり、**自由が丘に住んでいる方にとっても楽しく、快適に過ごせるまちづくり**をしてほしい。
- 自由が丘で生活する人向けの店舗、商品を入れるなど、**住民に対する配慮**についても検討してほしい。
- 歩行者に配慮した計画となっており良い。**ウォーカブルなまちの実現**のため、今後も一緒に議論していきたい。
- **オープンスペースはまちのイメージを作る部分**であるため、皆で議論し、できる範囲でより良い空間を作る努力が必要。

【未来ビジョンを踏まえた各団体の対応】

- まち全体の調整や、行政に対する提案などを行う役割を担っている。未来ビジョンの策定においては、必要に応じて、**地元の方々や行政との調整役としてかかわっていきたい**。
- **リーディングプロジェクトとして、未来ビジョンの考えに沿って事業を進めていきたい**。
- 未来ビジョンの関心した部分について、**地区の検討に取り入れていきたい**。
- 地区として生活再建について考える一方で、**自由が丘のまち全体が、より良くなる要素も求めている**。未来ビジョンについて具体的な話ができるようになると、再開発の後押しにもなると思うため、**積極的に協力したい**。

【進め方について】

- 個々の建物はオーナーが各々考えを持ちながらも、**まち全体としてビジョンを一つにし、魅力的なものをつくる**ことが必要。
- 皆で議論し、皆で良い街にしていく姿勢が必要。そのため、**まち全体でざくばらんに話し合いができる場**が必要。
- 未来ビジョンを実行するために、**主体や方法、スケジュールの整理**が必要。
- 時代ごとに課題が出てくると思うが、そうした課題に対して、**一步先に行く取組み**ができる良い。

《各街づくり活動団体からの近況報告》

- 駅前地区準備会は、再開発の可否を検討することについて合意を得られた段階。コロナの影響を受け、活動が延期されていたが、近日中に会合を開く予定。
- サンセットエリアは、未来ビジョン等に関する議論と共に、クロス型のパブリックプレイスの実現に向けて勉強会を進めていく。
- 東急（株）・東急電鉄（株）は、長年まちの課題であった、鉄道の連続立体交差化について、検討を進めている。

今後のスケジュール

	2021 年度 (R3 年度)								2022 年度 (R4 年度)				2023 年度 (R5 年度)	
	8	9	10	11	12	1	2	3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～	
街づくり連絡調整会 開催スケジュール	第3回				第4回		第5回	今回	第6回	第7回	第8回	第9回	エリアプラットフォームへ発展継承	

《問い合わせ先》 目黒区 街づくり推進部 地区整備課 地区整備係 担当:増田、大谷内、柏木、平松

TEL 03-5722-9430 FAX 03-5722-9239 E-MAIL jiyuugaoka-kai@city.meguro.tokyo.jp

URL <https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/sumai/katsudo/jiyuugaokaeki/jiyuugaokamatidukuri.html>

